

中世 3 中世の土地制度の実況中継③ 荘園公領制

その東西の決戦が***承久の変**です。
さらっとおさらいしましょう！

後鳥羽上皇の院政

政治に熱心だった後鳥羽上皇は、分散していた広大な皇室関係（八条院領・長講堂領）を掌握し、→西面の武士（北面の武士との混乱に注意）を置くなど、経済力・軍事力の強化を図った。1219年、3代将軍源実朝が暗殺されて源氏の血統が途絶えると、上皇は倒幕を決意し、幕府の皇族将軍要求を拒否した。

摂家将軍

源氏将軍を失った幕府は、皇族将軍を要求して拒否されると、摂関家出身の**藤原(九条)頼経**を鎌倉に迎えた。

***承久の乱** 発生 1221年、後鳥羽上皇は北条義時追討を諸国の武士に命じた。しかし、武士の多数は北条氏の主導する幕府側に味方し、幕府軍は短期間のうちに上皇側を圧倒した。なぜ後鳥羽は敗れたのか？武士に頼ったからです。武士たちは幕府に味方することで恩賞がもられたのです。承久の乱以後が入試では頻出します。

3 上皇の配流

後鳥羽は→**隠岐**に流され、土御門は**土佐**、のち阿波、順徳上皇は→**佐渡**ですね。皇族が配流されるなんてすごいことです。幕府は仲恭天皇を退け、以後、幕府は皇位の継承に介入するようになります。

六波羅探題設置

六波羅探題が京都におかれ、朝廷の監視・**京都**の警備・**西国**の統括を担当した。

院方所領の没収

朝廷に味方した貴族や武士の所領3,000余カ所を没収。ここには、功績に応じて東国の御家人が地頭に任命された→(**新補地頭**=新補率法を適用された地頭のこと)。こうして西国に所領を獲得していった御家人たちのことを、西遷御家人といいます。

新補率法

承久の乱後に新たに現地に派遣される地頭と荘園領主との間の紛争を避けるために定められた、→**地頭の給与についての規定**。(a)田畑11町につき1町を地頭の田畑とする、(b)1段あたり5升の加徴米(年貢など正規の税以外に徴収する米のこと)を認める、(c)山野河海からの収益は**荘園領主と折半**する、という内容をもち、この規定を適用された地頭を→**新補地頭**、それ以外の地頭を→**本補地頭**(従来の現地の先例にしたがう地頭)と呼んで区別した。

NO7 承久の乱 早稲田(文) 2013

次の文章のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- ア 後鳥羽上皇が執権北条泰時を打倒するために起こした兵乱である。
- イ この兵乱の前に、後鳥羽上皇は藤原定家等に命じて、『新古今和歌集』を編纂させた。

Pain is inevitable Suffering is optional

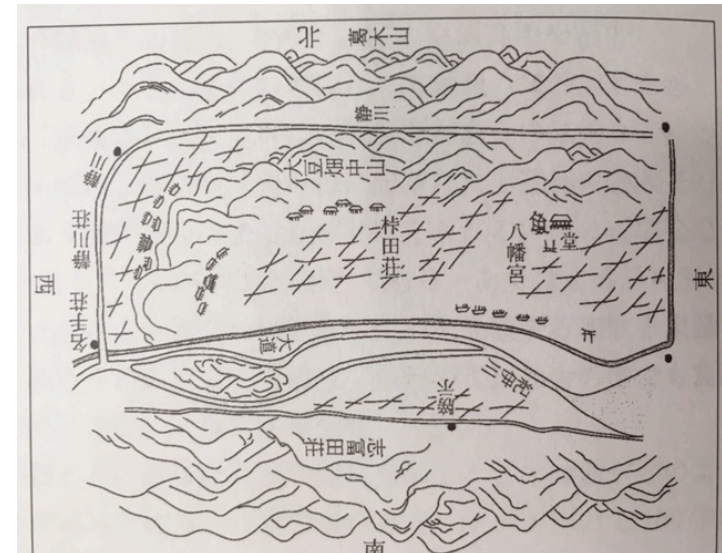
- ウ 承久の乱において幕府軍が勝利した背景には北条政子の存在があった。
 - エ 承久の乱の後、土御門上皇が政務を執るようになった。
 - オ 新補率法では免田と加徴米の規定が設けられたが、山川の収益については規定がなかった。
- 誤文→エ・オ。

NO8 中世荘園制の成立 早稲田大

次の文章および図について、以下の問いに答えよ。

10世紀から11世紀にかけて、日本列島を含む広範な地域では、それまでの低温状況を脱し、比較的温暖な時期を迎えつつあったといわれている。この温暖化は、一方で早魃や疾病の拡大をもたらしつつも、山林原野の開墾を進めて広大な耕地の開発を実現した。①**開発領主**が各地で活躍したことに象徴されるように、「大開発の時代」とも呼ばれる側面をもっていた。彼らは、自ら開発した領域を貴族や大寺社に寄進して荘園化したり、国衙に進出して自ら(a)となり、国衙領の私有化を進めたりしたため、律令制的な土地所有は大きく変質した。後三条天皇の発令した(b)の荘園整理令により、一定数の荘園は停止されたが、その後、白河・鳥羽・②**後白河上皇**らによって行われた院政は、むしろこうした荘園群の設立を積極的に推し進めたため、荘園制的な土地所有が確立し、中世社会は荘園制社会として展開することとなった。

一方、この時期に多く成立した荘園の典型的な景観を描いた絵図としてよく知られるのが、下図の荘園絵図である。これは神護寺が所有していた紀伊国の柿田荘という荘園の景観を描いたもので、当時の荘園の様相がわかりやすく表現されている。この絵図は、耕地ばかりの集合体であった③**初期荘園**とは異なる、④**この時期の荘園**の様相を、きわめて特徴的に描き出している。



早慶への日本史

問1 空欄 (a) に該当する語として、正しいものはどれか。

ア. 在庁官人 イ. 国司 ウ. 目代 エ. 領家 オ. 名主
正解→ア。国衙に進出したとあるので公領だから、**在庁官人**である。

問2 空欄 (a) に該当する語を漢字二字で記せ。

正解→**延久**

問3 下線部①の説明として、正しいものはどれか。

- ア 荘園領主によって京都から派遣され、現地に土着して荘官とも呼ばれた。
- イ 大名田堵などから成長し、その子孫の中には地頭に任命される者もいた。
- ウ 受領とも呼ばれ、租税の負担単位となる名を分け与えられた。
- エ 荘園公領制のもとで、撰関家から国衙領の支配を委任された。
- オ 荘園の寄進を受けた本家として、後には武士として活躍する者もいた。

正解→アは誤文。開発した土地を領有した大名田堵や豪族は、**→開発領主**と呼ばれた。開発領主の中には、国衙の行政実務に参加する者もあり、彼らは**在庁官人**と呼ばれた。ウ→名の耕作を請け負った有力農民は、税の単位となる田地の呼称を付して税の納入請負人**→負名**とも呼ばれた。エ→国衙領の支配は受領である。オ誤文→本家は荘園領主である。

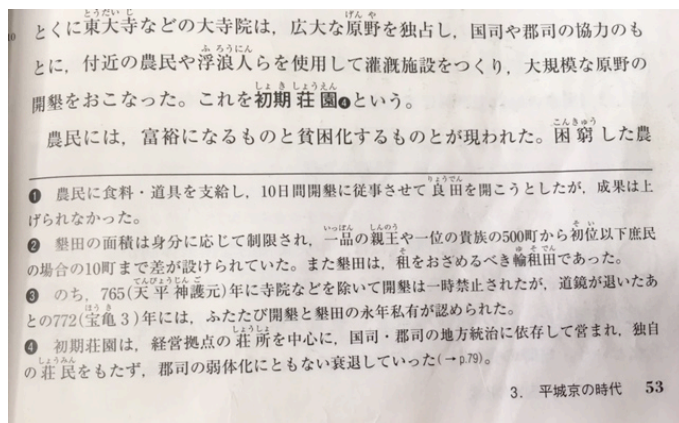
問4 下線部②の人物の持仏堂に寄進された大量の荘園群を何と呼ぶか。漢字で記せ。

正解→長講堂領

問5 下線部③の説明として、誤っているものはどれか。

- ア この荘園の多くが10世紀までに衰退した。
- イ この荘園の内部には耕作者が住んでいなかった。
- ウ この荘園は預所とその周辺の墾田から成っていた。
- エ この荘園では付近の農民を動員して原野の開墾が進められた。
- オ この荘園の開発は主に東大寺などの大寺院によって進められた。

誤文→ウ。初期荘園は荘所を中心に独自の荘民を持たない。



Pain is inevitable Suffering is optional

問6 下線部④が指している荘園の説明として、誤っているものはどれか。

- ア この時期の荘園には既墾地の他、一定の開発予定地が含まれていた。
 - イ この時期の荘園は、政府から官物などの不輸を認められたものも多かった。
 - ウ この時期の荘園には耕地・集落や河川・山野が含まれ、ひとまとまりの領域をもつものが多かった。
 - エ この時期の荘園の耕地は名に編成され、年貢は名主が請け負っていた。
 - オ この時期の荘園の耕地を耕す耕作者は、ほとんど荘園外から動員されていた。✕
- 誤文→オ。この時期専属の荘民を持っていた。

問7 前頁の荘園絵図に関する説明として、誤っているものはどれか。

- ア この絵図によると、柿田荘は静川荘や名手荘、志富田荘と隣接している。
 - イ 住民の住む民家は山麓や道に沿って展開している。
 - ウ この絵図に記された交差する棒線は耕地を表し、その大部分は集落の前面に広がっている。
 - エ 絵図の東北には八幡宮と堂が隣接して描かれ、当時の神仏習合の様子が表されている。
 - オ この絵図に記された黒い丸印は、この荘園への出入口の門の所在地を示す勝示である。
- 誤文→オ。**荘園の境目を示す勝示**である。

NO9 荘園公領制の成立 早稲田(文)2007

網野義彦氏は、日本史研究に大きな足跡を残したが、中世の土地制度についても荘園公領制という概念を提唱し、これが学会に受け入れられ、現在に至っている。この概念で表される土地領有体制は **a 鳥羽院政期**に成立し、中世国家における基本的枠組みとなったもので、荘園と公領が複雑に組み合わせられて体系的な税の徴収体制ができあがったものである。

問1 下線 a について。鳥羽上皇に重用され、山陽・南海の海賊を討って昇殿が許され、一族繁栄の基を築いた武士は誰か。漢字3字で記せ。

そもそも荘園は奈良時代から存在したが、その経営は困難を極め、平安時代の荘園整理令によって新立の荘園は抑制されることとなった。特に、後三条天皇による延久の荘園整理令では、〈A〉年以降の新立荘園は廃止され、b 藤原氏の荘園もその対象となった。

問2 空欄 A に入る年紀を下記から1つ選びなさい。

- ア 延喜2 イ 長元1 ウ 寛徳2 エ 天喜3 オ 保元1

正解→ウ、寛徳2

問3 下線 b について。この時に設置された記録荘園券契所で、反撰関家の立場に立って事務を進め、後三条天皇の侍講であった人物は誰か。

正解→大江匡房

…また、この前後から公領において開発領主が地域開発を始め、政府は